

「保健医療科学」  
第66巻 第2号 予告

**特集：高齢者施設の室内環境と衛生課題（仮題）**

- 高齢者施設の施設整備と衛生管理体制（仮題）…………… 阪東美智子  
建築設備と衛生管理の現状と課題（仮題）…………… 大澤元毅  
高齢者福祉施設の衛生管理への取組み（仮題）… 片岡雅美, 山本義明, 永添繭子, 佐野孝祐, 西村美緒  
北海道における社会福祉施設の建物の断熱性能とエネルギー消費量に関する研究（仮題）  
…………… 羽山広文, 片岡みさ  
高齢者住居の微生物環境と健康影響（仮題）…………… 柳宇  
高齢者福祉施設の室内空気質の実態調査（仮題）…………… 金勲  
高齢者施設の室内温熱環境の実態（仮題）…………… 開原典子  
高齢者施設の健康的な室内環境を維持するための設計及び運用管理について（仮題）  
…………… 湯澤秀樹, 田中宏昌  
高齢者施設の感染症予防を踏まえた室内湿度の改善（仮題）…………… 林基哉

編 集 後 記

保健医療分野の大規模データは、保健医療活動の検証、医療提供体制の在り方、疾病の予防、健康維持のエビデンスの構築可能性を持つものとして活用が期待されている一方で、情報処理を行う技術者や人材育成が追いついていないのが現状である。本特集ではこういった問題解決に有用なマニュアルやツールの紹介も行われており、存分に活用し、多くのエビデンスを集積するための一助となることを期待したい。

「レセプト情報・特定健診等情報データベース（National Database; NDB）」は「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、レセプト情報（平成21年度分～）と特定健診等の情報（平成20年度分～）が格納され、2011年以降、行政機関や研究者への提供が行われている。年間2千万件を超える特定健診・特定保健指導のデータが含まれるNDBはレセプト、つまり医療の費用情報が含まれる、現状唯一網羅性の高いデータであり、本特集で挙げられている費用対効果分析等のデータとしても用いられるものである。2016年より、NDBオープンデータとして単純な集計単位で公表され、広く利用できる形で提供されている。こうした取り組みは保健医療分野のデータへのアクセスが難しかった者のアクセシビリティを高めるものとして、非常に重要な貢献である。

本特集では、保健医療に関わるこうしたデータの活用に関連する課題、医薬品・医療機器の費用対効果評価の試行的導入の問題点について示されている。中でも、費用対効果を考慮する際に論点となり得る生産性損失の組み入れの是非に関し、計測、担保が複雑であるプレゼンティーズムの議論を勘案したガイドライン案の提案については、非常に貴重なレビューであり、ぜひ一読いただきたい。

ICT、AIという技術進歩の中で、情報処理やデータ整備、分析はさらなる進化を遂げることが確実であり、個人情報保護やデータの二次利用のルール化などを含めて、科学性を担保した研究の在り方について、さらなる議論の発展を期待したい。

（政策技術評価研究部 / 健康危機管理研究部 佐々木美絵）